



目指す児童像 ◇学び合う子 ◇思いやる子 ◇きたえる子

【緑小HP】

下野市立緑小学校 鈴木 寧子

～ 元気なあいさつ 輝くひとみ みんなが笑顔 みどりの子 ～

<「元気なあいさつ 輝くひとみ みんなが笑顔 みどりの子」を目指して～>

前期後半開始です！ 9月1日。学校に再び子供たちの笑顔と元気な姿が戻ってきました。長い夏休み期間、安全に過ごすことができ大変お世話になりました。ありがとうございました。

長い夏休みを終えて子供たちはどんな気持ちで登校してくるだろうかと考えていました。久しぶりに入る教室、しばらく会わなかった友達や先生。「始めの一步」は少し緊張しているかな、宿題が気がかりな子もいるかな…。初日のお子さんの様子はいかがでしたか。これからも学校が子供たちにとって安心して登校できる場所であるよう努めてまいります。学校が再開する節目に、「夏休み明け放送」で、文部科学大臣から子供たちに届けられたメッセージを紹介しながら、次のようなお話をしました。

緑小の先生たちは、緑小の子供たちの幸せを一番に考え、みんなが安心して元気に楽しく笑顔で学校生活を送ることができるように願っています。困ったことがあったら元気になる方法を一緒に考えます。だから、これからも安心して学校に来てください。心配なことや不安なことがあったらいつでも相談してください。

そして、緑小の先生たちと同じようにみんなのことを見守り応援してくれている人からみなさんにお手紙が届いています。今から読みます。聞いてください。【大臣メッセージ代読】

毎日の学校生活ではうまくいかないことも悲しくなっちゃうこともあるかもしれません。でも、一人で悩まないでください。周りにはみなさんを大切に思うご家族や心配しているお友だち、そしてみなさんを見守り成長と幸せを願って応援している先生たちがいます。一人じゃないです。

皆さんの心の中には、一人一人「やさしさや思いやりの種」や「もっともっとできる・伸びる可能性の芽」

たくさんいいところがあります。お互いのいいところや素敵なおところを見つけ出し、助け合いながら、みんなが安心して楽しい学校生活を送ることができるように願っています。



ご家庭にもすぐるで大臣メッセージがお手元に届いていると思います。ぜひご家庭でも話題にしていだけたらと思います。また、自分の良さを見付けることは自信につながり、お互いのいいところを見つけ合うことは温かい人間関係につながると思います。そして、安心して過ごせる居心地のよい学校作りにつながっていくのではないかと考えています。これからも一人一人の良さや可能性を伸ばしていけるよう努めてまいります。

<安心安全な学校を目指して ～みんなが笑顔～>

安心への備えです 9月1日は防災の日。夏休み中も連日のように、猛暑、

線状降水帯、台風、雷、そして時折発生する地震など、落ち着いたニュースを聞きながら、夏休み明けからの安心安全な学校生活について、思いを巡らせていました。災害は時や場所を選ばず突然に襲いかかり、私たちの命を危険にさらし、生活を一変させてしまいます。平時にこそ備えについて考え準備し心構えをすることが求められていると思います。

いつ何が起ころかわかりません。今年度はそのような時の備えの1つとして、

PTAの皆様のご理解とご協力により、全児童、職員分の非常食と水を準備していただくことができました。とてもありがたいことです。今年度のPTA会費から購入させていただきました。無事に使う機会がなく年度末を迎えられたら「無事に1年が過ぎました。ありがとうございました。」と子供たちに配布してご家庭に持ち帰ってもらいたいと考えています。9月30日には市の安心安全課の担当者様、地域のスクールガードリーダーの方にご協力をいただき、不審者想定避難訓練を実施予定です。「最悪を想定して準備して、常に最善を尽くして行動する」。今後もご家庭、地域の皆様にもご協力をいただきながら、安心安全な学校作りを目指してまいります。



引き渡し下校のご協力への感謝とお願い

引き渡し訓練より前に引き渡し下校を実施するなど、今年度は早い段階から雷による引き渡し下校にご協力をいただいています。ご家庭のみなさまにはお忙しい中でのご対応や下校時刻ごとのお迎え、駐車場での譲り合いなど大変お世話になっています。お陰様で、毎回、子供たちを無事に安全に保護者の皆様へ引き渡すことができました。ご理解とご協力に深く感謝いたします。ありがとうございます。9月以降も引き渡し下校の可能性も考えられます。改めて数点確認とお願いをさせていただきます。駐車場の案内に職員を配置するようお願いをいただいたのですが、雷雨等の中、職員を外で交通整理につかせることは安全管理上も難しいと考えています。駐車場につきましては、大変ご不便をおかけしていることは重々承知していますが、どうぞ引き続き譲り合って安全にご利用いただけたらとお願いいたします。また、学年ごとに時間帯を分けて迎えに来るよう分散した時間帯の連絡をして欲しいとのお願いもいただきました。連絡については、ご家庭で天候を案じていらっしゃることを考慮し、今後も下校時刻より前に一斉にお知らせします。迎えの時間帯を学年ごとに分けて欲しいというご提案につきましては、学年ごとに区切ってしまうことでご不便をおかけすることも懸念されるため、今後もこれまで同様、ご家庭のご都合に合わせて可能なお時間でお迎えに来ていただくようにさせていただけたらと考えています。なお、緊急のご対応になりますので、お迎えの時間が遅くなる場合も引き続き、安心いただけるよう対応してまいります。また、駐車場につきましては、トイレ改修工事に伴いかなり制限されてしまっています。工事業者の皆様、市役所関係部局担当者様には、引き渡し等緊急の場合は、保護者の車両優先、児童の安全優先を確認し、協力いただくようお願いしてあります。保護者の皆様には引き渡し時は「左折で入り、左折で出る」一方通行にご協力いただけたらとお願いいたします。今後も、その都度課題を反省し、改善策を検討しながら、よりよい手立てを考えてまいります。ご迷惑をおかけすることばかりですが、どうぞご理解いただき、子供たちの安全を第一にご協力いただきますようお願いいたします。

<目指す児童像:学び合う子 思いやる子(確かな学力 豊かな心の育成)～よりよい授業を目指して～>
 各種学力調査の結果について 4月17日(木)に実施した「全国学力・学習状況調査」(6年生)及び「とちぎっ子
 学習状況調査」(4,5年生)の結果が届きましたので、概要をお知らせします。

☆ 大きく上回っている(10ポイント以上) ◎ 大きく上回っている(5ポイント以上10ポイント未満)
 ○ 上回っている(1ポイント以上 5ポイント未満) — 同程度(±1ポイント未満) ▼ 下回っている(1ポイント以上)

(1)全国学力・学習状況調査の結果より



【全体と領域別の比較】(全国平均正答率との比較)

	国 語
全 体	◎
知識・技能	◎
思考・判断・表現	◎
話すこと・聞くこと	○
書くこと	◎
読むこと	◎

	算 数
全 体	☆
知識・技能	☆
思考・判断・表現	◎
数と計算	☆
図形	—
変化と関係	☆
データの活用	◎

	理 科
全 体	☆
知識・技能	☆
思考・判断・表現	☆
「エネルギー」を柱とする領域	☆
「粒子」を柱とする領域	◎
「生命」を柱とする領域	☆
「地球」を柱とする領域	◎

【全体的な傾向と考察】

- ・安定して高い正答率であり、無回答率が低い。
- ・教科や項目等によって大きなばらつきはない。
- ・授業における理解や定着が概ね満足できる状況であると判断できる。
- ・算数と理科において、基礎的な知識や操作技能に関する設問に課題がみられる。
- ・知識を活用したり、複数の事実や情報を比較したり、選んだりしながら、適切な考えを導き出したり、自分の考えを明確にしたりして、考えの道筋を論理的に説明したり、表現したりすることに課題が見られる。

【教科別結果を踏まえた課題と考察】

国 語

【知識・技能】(2)情報の扱い方に関する事項 ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。(選択式)

【思考・判断・表現】 A話すこと・聞くこと ○話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。(選択式)

B書くこと ○自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。(記述式)

C読むこと ○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける。(短答式・記述式)

<考察>

- ・設問別に見ると、概ね全国並びに県全体平均正答率を上回っているが、設問によって下回る。特に知識・技能を問う問題で「情報の扱い方に関する事項」に課題がある。昨年度までの課題であった「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」問題は改善傾向が見られた。
- ・思考・判断・表現を問う問題は、文章を読んだり聞いたりする際、相手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる力、叙述を基に事実と感想、意見などとの関係を捉え要旨をまとめる力や、与えられた情報から目的に応じて必要な情報や条件を見いだし解決する力に課題がある。
- ・今後は現状の力を生かしながら、「言葉」への意識を高くするとともに相手意識をもって読んだり表現したりする力や与えられた情報を適切に扱い課題の解決につなげ、それを論理的に表現する力の育成を目指した指導が必要である。



算 数

【知識・技能】B 図形 ○台形の意味や性質についての理解(選択式)→方眼上の五つの図形から台形を選ぶ。

【思考・判断・表現】A 数と計算 ○分数の加法で共通する単位分数を見いだし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述する(記述式)→ $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ で共通する単位分数と $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ が共通する単位分数の幾つ分になるか書く。

B 図形 ○基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を式や言葉を用いて記述する。

D データの活用 ○目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する。

<考察>

- ・全ての設問において、全国並びに県全体平均正答率は上回っているものの、校内の比較においてはやや正答率が低い問題がある。
- ・図形の性質の理解やそれらを活用して表現したり、分数の基礎的な知識の理解やそれらを活用して課題解決をする力に課題がある。
- ・与えられた数値や情報を手がかりに考え、自分の考えや回答に対して、言葉や数を用いて数学的に理由を説明することに課題がある。
- ・グラフや表から必要な数値を読み取り、問題を解決する際に必要な情報を主体的に見いだし、条件に当てはまることを言葉や数を用いて記述すること、題意を理解して式に表すことに課題がある。
- ・今後は、情報の関係性に着眼して整理して考えたり、既習事項を関連付けて説明したり、図やグラフなどを活用して、それらを条件に合わせて適切に読み取ることができるようにしたり、必要な情報を取り出して、筋道立てて考え、説明できるように指導することが必要である。

理 科

【知識・技能】「エネルギー」「粒子」を柱とする領域 ○身の回りの金属(アルミニウム、鉄、銅)について、電気を通すか、磁石に引きつけられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ。(選択式)

「生命」を柱とする領域 ○顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能を選択する。(選択式)

【思考・判断・表現】「粒子」を柱とする領域 ○水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し書く。(短答式)

「生命」を柱とする領域 ○レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、見いだした問題について書く。(記述式)

<考察>

- ・全ての設問において、全国並びに県全体平均正答率を上回っている。
- ・物の基本的な性質に関する知識や道具の操作についての理解が課題である。
- ・知識と関連付けて理科的な根拠を示し、事象について適切に説明する力に課題がある。
- ・今後は、与えられた情報や条件、既習の知識などから必要な情報を見いだしたり複数の情報や事実を比較したり関連付けたり、選んだりしながら課題の解決につなげ、それを論理的に表現することができるよう指導することが必要である。

【児童質問紙の結果を踏まえた考察】

- ・概ね学習の必要性は理解していて、家庭学習や宿題にも意欲的に取り組んでいる。
- ・多くの児童が自分の良さを自分で認めていて、全員の児童が先生に自分の良さを認めてもらっていると感じている。
- ・多くの児童が、将来に夢や目標がある、毎日の生活で幸せな気持ちになると回答している。
- ・生活においても学習においても、正しい判断や理解はできている。
- ・多くの児童がICT機器を活用することが学習の役に立つと考えている。
- ・国語や算数、理科について、社会に出た時に役に立つと考えている。
- ・「教科が好き・得意」に関する設問で、肯定的な回答の割合が、国語は「好き」＜「得意」、算数は「好き」＞「得意」、理科は「好き」＝「得意」。
- ・困りごとや不安があるときに先生や学校の大人に相談できると回答した児童が増加傾向である。
- ・全体的に概ね全ての設問で肯定的な回答の傾向が見られる。学習も学校生活も前向きに取り組んでいることが数字からうかがえる。
- ・今後も一人一人に寄り添った支援を通して、良さを伸ばし個人の成長を促すとともに、集団での学びを支えていく必要がある。



(2)とちぎっ子学習状況調査の結果より

【教科全体】 栃木県平均正答(%)率との比較

	国語	算数	理科
4年生	◎	☆	◎
5年生	◎	◎	☆

【傾向と考察】

- ・両学年とも全ての教科において、安定して高い正答率である。
- ・教科や項目等によって大きなばらつきは見られない。授業における理解や定着が概ね満足できる状況であると判断できる。

【観点別】

4年生	国語	算数	理科
知識・技能	◎	☆	◎
思考・判断・表現	◎	☆	◎
5年生	国語	算数	理科
知識・技能	—	○	◎
思考・判断・表現	☆	☆	☆

【傾向と考察】

- ・両学年とも、県との比較において、思考・判断・表現に関する設問の方が正答率の割合が高くなる傾向にある。
- ・知識・技能に関する設問では、国語では特定の漢字の書き取りの正答率が低く、無回答率が高い。算数では概ね高い正答率だが、特定の単元や項目で正答率が低いものがある。
- ・思考・判断・表現に関する設問では、国語では自分の考えや内容の中心を明確にして書くことに、算数や理科では、関係性を見だし適切に表現することに課題が見られる。

【領域別】

国語	話す 聞く	書く	読む	言語の特徴 や使い方	情報の 扱い方	我が国の 言語文化
4年生	◎	—	☆	◎	○	△
5年生	◎	☆	☆	▽	△	☆
算数	数と計算	図形	測定	データの活用		
4年生	☆	☆	☆	☆		
5年生	◎	◎	◎	◎		
理科	エネルギー	粒子	生命	地球		
4年生	◎	☆	◎	☆		
5年生	☆	☆	○	◎		

【傾向と考察】

- ・両学年とも、全教科概ねよい傾向が見られる。
- ・国語において、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく書く設問について、昨年度からの比較で正答率が上がり改善傾向が見られるものの引き続き課題である。熟語や主述関係、文の中における修飾と被修飾の関係を捉える設問で正答率が低い。また、「書くこと」について条件を踏まえ、自分の考えを明確にし事実や事例、根拠を明確にして適切に表現することに課題がある。「読むこと」については、昨年度の課題であった叙述を基に内容を捉える設問については改善傾向であるが、引き続き情報と情報の関係について理解し、中心となる語や文を見付け要約する設問に課題が見られる。

- ・算数では両学年とも数や計算の性質や既習の知識を活用して立式したり自分の考えを整理し説明するなど「知識を活用して思考し書いて説明する」設問や伴って変わる2つの数量の関係性を見いだしたり、グラフなどのデータを適切に読み取ったりしながら、与えられた情報から判断して回答する設問に課題が見られる。
- ・理科ではどの設問に対しても無回答率が低い。一方、知識や技能を活用して思考、判断、表現する設問に課題がある。また、グラフを正しく読み取ったり、与えられた情報や事象同士を関連付けて考え、理科的根拠を明確にして説明する問題に課題が見られた。
- ・今後は現状の力を生かしながら、「言葉」への意識を高くし、相手意識を持って読んだり伝えたりする力を高める必要がある。また、学習と生活を結び付けて考えさせたり、生活の中で学ぶ機会を意識させながら指導をすることが大切だと考える。さらに、情報の扱いについて、必要な情報を選択したり、情報を関連付けたり比較したりして課題解決に向けて自分の考えを深め、論理的に根拠をもって説明することができるよう指導する必要がある。

【児童質問紙の結果を踏まえた考察】

- ・概ね学習の必要性は理解していて、家庭学習や宿題にも前向きに取り組もうとしていて、9割以上の児童が「宿題はためになっている」と回答している。
- ・多くの児童が毎日の生活が充実していると感じていて、7割以上の児童が自分にはよいところがあると肯定的に回答している。
- ・失敗を恐れず挑戦しようとする意欲はあると回答した児童は6～7割程度であり、自分の発言や行動に自信を持っていると回答している児童は5～6割程度である。
- ・思いやりを持って接していると肯定的に回答している児童は8割以上である。
- ・将来の夢や目標があると回答している児童は7～8割程度である。
- ・家族と将来について話をするのは6～7割程度であり、家族には自分のほめてもらいたいことをほめてもらっていると感じているのは7～8割程度であり、自分は家族の大切な一員であると感じているのは9割程度である。

以上、両調査についておおまかに考察をしました。結果は対象学年のものですが、この結果は緑小の総合的なものであると受け止めています。学力調査で測れる力は学力のほんの一部ですが、私たちはそこから学ばなくてはならないと考えています。そのため、結果の分析は全職員で行い、そこから得た成果と課題は当該学年だけでなく今後の全学年の指導に生かしてまいります。そして、子供たちが持っている力を信じて伸ばすことができるよう今後も努力し続けたいと考えています。これからも学校とご家庭が連携し、子供たちのよりよい成長を目指すことができますようご協力よろしくお願いします。

【お願い】・残暑が厳しい日がしばらく続く予報となっています。WBGTの数値により外での活動を制限することもあります。ご家庭でも水筒の持参や睡眠時間の十分な確保などご協力よろしくお願いします。また、市の「熱中症対応マニュアル」に基づき、「熱中症特別警戒アラート」発令の際は、市により外での活動や学校休業が検討され、対応について市よりすぐるで連絡があることとなりました。ご承知おきください。・1日から12日まで特設日課としているため、下校時刻が変更になっています。詳しくは下校時刻表でご確認ください。

